



2024年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2024年11月7日

上場会社名 ライオン株式会社

上場取引所

東

コード番号 4912 URL <https://www.lion.co.jp/ja/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 竹森 征之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 竹生 昭彦 (TEL) 03-6739-3711

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	301,159	1.7	17,109	36.7	19,581	37.8	14,587	42.9	12,664	43.1	20,624	1.3
2023年12月期第3四半期	296,097	3.5	12,512	△44.1	14,214	△42.5	10,206	△42.5	8,850	△48.3	20,368	△16.1

(注) 事業利益 2024年12月期第3四半期 18,623百万円(47.8%) 2023年12月期第3四半期 12,604百万円(△26.8%)

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
2024年12月期第3四半期	45	67	45	61
2023年12月期第3四半期	31	12	31	08

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	%	
2024年12月期第3四半期	460,808		300,513		280,461		60.9	
2023年12月期	486,363		298,134		280,316		57.6	

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年12月期	—	13.00	—	13.00	26.00	
2024年12月期	—	13.00	—			
2024年12月期(予想)				14.00	27.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	410,000	1.8	27,000	31.7	19,000	29.9	66	81

(注) 1. 事業利益 通期 23,000百万円

2. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更 : 無
① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期3Q	284,432,746株	2023年12月期	292,536,446株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	8,045,139株	2023年12月期	8,075,507株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期3Q	277,276,331株	2023年12月期3Q	284,388,406株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の連結業績は、売上高3,011億5千9百万円(前年同期比1.7%増、為替変動の影響を除いた実質前年同期比0.6%減)、事業利益186億2千3百万円(前年同期比47.8%増)、営業利益171億9百万円(同36.7%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益126億6千4百万円(同43.1%増)となりました。

当社グループは、中期経営計画「V i s i o n 2 0 3 0 1 s t S T A G E」の最終年度となる本年を、これまでの計画の進捗等を踏まえ、次期中期経営計画を見据えた収益基盤再構築の年と位置付けております。

成長戦略の中心となる海外事業においては、中国での店舗販売チャネルの強化など、主要国を中心に積極的な事業拡大施策を推進しました。

国内においては、高付加価値点眼剤の新製品を発売するとともに、新しいオーラルケアの選び方を提案する新ブランドを導入し育成に努めました。併せて、収益性の改善に向け、薬品分野の一部ブランドを売却するなど、ポートフォリオ改革も着実に推進しています。なお、収益構造改革の一環として、ファブリックケア分野を中心に生産設備等について減損損失を計上しました。

【連結業績の概況】

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	301,159		296,097		5,061	1.7%
事業利益	18,623	6.2%	12,604	4.3%	6,019	47.8%
営業利益	17,109	5.7%	12,512	4.2%	4,597	36.7%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	12,664	4.2%	8,850	3.0%	3,813	43.1%

(注) 事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

【セグメント別の業績】

(単位：百万円)

	売上高				事業利益			
	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
一般用消費財事業	188,785	196,519	△7,733	△3.9%	8,360	3,082	5,278	171.3%
産業用品事業	40,275	42,713	△2,437	△5.7%	2,228	2,513	△285	△11.4%
海外事業	123,315	109,637	13,678	12.5%	7,257	5,975	1,282	21.5%
その他	12,447	15,535	△3,087	△19.9%	408	934	△525	△56.3%
小計	364,825	364,404	420	0.1%	18,254	12,505	5,749	46.0%
調整額	△63,666	△68,307	4,641	—	368	98	270	—
合計	301,159	296,097	5,061	1.7%	18,623	12,604	6,019	47.8%

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

<一般用消費財事業>

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」で構成されています。全体の売上高は、前年同期比3.9%の減少となりました。事業利益は、販売費及び一般管理費の減少により、前年同期比171.3%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	188,785		196,519		△7,733	△3.9%
事業利益	8,360	4.4%	3,082	1.6%	5,278	171.3%

(注) 売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では28,514百万円、前第3四半期では29,077百万円となっております。

[売上高の分野別状況]

(単位：百万円)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
オーラルケア分野	54,385	51,892	2,492	4.8%
ビューティケア分野	18,084	18,006	77	0.4%
ファブリックケア分野	41,068	46,669	△5,600	△12.0%
リビングケア分野	15,075	15,801	△726	△4.6%
薬品分野	18,563	18,931	△368	△1.9%
その他の分野	41,608	45,217	△3,609	△8.0%

(オーラルケア分野)

当分野は、「ハミガキ」、「ハブラシ」、「デンタルリンス」等で構成されています。

ハミガキは、「システムハグキプラス ハミガキ」や「NONIO^{ノニオ}プラスホワイトニング ハミガキ」が好調に推移したことに加え、新ブランド「OCH-TUNE^{オクチューン}ハミガキ」の発売もあり、全体の売上は前年同期を上回りました。

ハブラシは、「NONIO^{ノニオ} ハブラシ」や「クリニカPRO^{プロ} ハブラシ」が好調に推移するとともに、「OCH-TUNE^{オクチューン}ハブラシ」が加わり、全体の売上は前年同期を上回りました。

デンタルリンスは、「OCH-TUNE^{オクチューン}マウスウォッシュ」の発売に加え、「NONIO^{ノニオ}プラスホワイトニング デンタルリンス」が好調に推移したことにより、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比4.8%の増加となりました。

(ビューティケア分野)

当分野は、「ハンドソープ」、「ボディソープ」、「制汗剤」等で構成されています。

ハンドソープは、「キレイキレイ薬用ハンドコンディショニングソープ」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

ボディソープは、「hadakara^{ハダカラ} ボディソープ」が前年同期を下回り、全体の売上も前年同期を下回りました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比0.4%の増加となりました。

(ファブリックケア分野)

当分野は、「柔軟剤」、「洗濯用洗剤」等で構成されています。

柔軟剤は、改良発売した「ソフラン プレミアム消臭」が堅調に推移しましたが、「ソフラン エアリス」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

洗濯用洗剤は、昨年9月に発売した液体高濃度洗剤「NANOX^{ナノックス} one」の反動もあり、全体の売上は前年同期を下回りました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比12.0%の減少となりました。

(リビングケア分野)

当分野は、「住居用洗剤」、「台所用洗剤」等で構成されています。

住居用洗剤は、浴室用カビ防止剤「ルックプラス おふろの防カビくん煙剤」が前年同期を下回り、全体の売上も前年同期を下回りました。

台所用洗剤は、「CHARMY Magica」が順調に推移しましたが、事業効率化に向けた商品構成見直しのため、一部商品の販売を昨年終了したこともあり、全体の売上は前年同期比微減となりました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比4.6%の減少となりました。

(薬品分野)

当分野は、「解熱鎮痛薬」、「点眼剤」、「ニキビ薬」等で構成されています。

解熱鎮痛薬は、「バファリン プレミアム D X」が好調に推移しましたが、「バファリン プレミアム」、「バファリンA」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

点眼剤は、「スマイル40ゴールド」シリーズが堅調に推移するとともに、眼疲労・かすみ・充血・かゆみのこれらすべての症状を治す新製品「スマイル40 プレミアム ザ・ワン」が加わり、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

ニキビ薬は「ペアアクネクリームW」が、足用冷却シートは「休足時間 足すっきりシート」が、好調に推移し、それぞれ全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

なお、当第3四半期中に、外用消炎鎮痛剤「ハリックス」およびドリンク剤「グロンサン」、「グロモント」の各ブランドを他社に譲渡しました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比1.9%の減少となりました。

(その他の分野)

当分野は、ペット用品、ギフト・ノベルティ、歯科ルート品等で構成されています。

ペット用品は、オーラルケア用品「PETKISS」や猫用トイレの砂「ニオイをとる砂」が堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

ギフト・ノベルティは、市場縮小等の影響を受け、前年同期を下回りました。

分野全体の売上は、昨年、機能性食品事業を終了したこともあり、前年同期比8.0%の減少となりました。

<産業用品事業>

当事業は、タイヤ用ゴムの防着剤等を取り扱う「モビリティ分野」、二次電池用導電性カーボン等の「エレクトロニクス分野」、施設・厨房向け洗浄剤等の「業務用洗浄剤分野」等で構成されており、全体の売上高は、前年同期比5.7%の減少となりました。事業利益は、前年同期比11.4%の減少となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	40,275		42,713		△2,437	△5.7%
事業利益	2,228	5.5%	2,513	5.9%	△285	△11.4%

(注) 売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では12,408百万円、前第3四半期では14,520百万円となっております。

モビリティ分野では、タイヤ用ゴムの防着剤が順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

エレクトロニクス分野では、二次電池用導電性カーボンが前年同期を下回り、全体の売上も前年同期を下回りました。

業務用洗浄剤分野では、衣料用洗剤が好調に推移するとともに、ハンドソープも順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

<海外事業>

海外は、タイ、マレーシア等の東南・南アジア、中国、韓国等の北東アジアにおいて事業を展開しております。全体の売上高は、前年同期比12.5%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は5.8%の増加)となりました。事業利益は、前年同期比21.5%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	123,315		109,637		13,678	12.5%
事業利益	7,257	5.9%	5,975	5.4%	1,282	21.5%

(注) 売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では11,289百万円、前第3四半期では10,454百万円となっております。

[地域別状況]

(単位：百万円)

		当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
東南・南アジア	売上高	74,891	66,874	8,017	12.0%
	事業利益	4,509	3,409	1,099	32.2%
北東アジア	売上高	48,423	42,762	5,661	13.2%
	事業利益	2,748	2,565	183	7.1%

(地域別の状況)

東南・南アジア全体の売上高は、前年同期比12.0%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は5.2%の増加)、事業利益は32.2%の増加となりました。

タイでは、洗濯用洗剤「Pao^{パオ}」が堅調に推移するとともに、ボディソープ「植物物語」が順調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を上回りました。

また、マレーシアでは洗濯用洗剤「トップ」やボディソープ「植物物語」が好調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

北東アジア全体の売上高は、前年同期比13.2%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は6.6%の増加)、事業利益は7.1%の増加となりました。

中国では、ハミガキ「ホワイト&ホワイト」が堅調に推移するとともに、ハミガキ「クリニカ」やハブラシ「システム」が好調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

また、韓国では洗濯用洗剤「BEAT」や点眼剤「Eyemiru」が好調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を上回りました。

<その他> (建設請負事業等)

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	12,447		15,535		△3,087	△19.9%
事業利益	408	3.3%	934	6.0%	△525	△56.3%

(注) 売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では11,453百万円、前第3四半期では14,254百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期における資産、負債および資本の状況
(連結財政状態)

	当第3四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末	増減
資産合計(百万円)	460,808	486,363	△25,555
資本合計(百万円)	300,513	298,134	2,379
親会社所有者帰属持分比率(%)	60.9	57.6	3.2

資産合計は、有形固定資産の減少等により、前連結会計年度末と比較して255億5千5百万円減少し、4,608億8百万円となりました。資本合計は、23億7千9百万円増加し、3,005億1千3百万円となり、親会社所有者帰属持分比率は60.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月14日に公表いたしました通期の連結業績予想については変更していません。
予想算出時の想定為替レート(年間平均)は、145円/米ドル、4.0円/バーツです。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	85,526	74,960
営業債権及びその他の債権	75,230	66,818
棚卸資産	56,090	59,216
その他の金融資産	12,276	10,720
その他の流動資産	3,151	3,981
流動資産合計	232,274	215,697
非流動資産		
有形固定資産	140,671	126,948
のれん	327	327
無形資産	22,712	21,652
使用権資産	31,313	30,129
持分法で会計処理されている 投資	17,487	19,106
繰延税金資産	4,357	4,535
退職給付に係る資産	10,826	11,166
その他の金融資産	25,475	30,415
その他の非流動資産	917	827
非流動資産合計	254,089	245,110
資産合計	486,363	460,808

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	126,158	98,219
借入金	148	—
未払法人所得税等	2,508	8,362
引当金	2,399	4,081
リース負債	2,043	2,045
その他の金融負債	2,363	1,019
その他の流動負債	7,711	8,062
流動負債合計	143,333	121,791
非流動負債		
繰延税金負債	5,847	2,004
退職給付に係る負債	4,531	2,740
引当金	2,046	2,068
リース負債	28,150	27,326
その他の金融負債	2,452	2,513
その他の非流動負債	1,867	1,848
非流動負債合計	44,896	38,503
負債合計	188,229	160,294
資本		
資本金	34,433	34,433
資本剰余金	31,118	31,175
自己株式	△7,868	△8,730
その他の資本の構成要素	18,377	21,167
利益剰余金	204,255	202,415
親会社の所有者に帰属する 持分合計	280,316	280,461
非支配持分	17,817	20,052
資本合計	298,134	300,513
負債及び資本合計	486,363	460,808

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 9月30日)
売上高	296,097	301,159
売上原価	△164,748	△163,532
売上総利益	131,348	137,626
販売費及び一般管理費	△118,744	△119,002
その他の収益	1,064	5,684
その他の費用	△1,156	△7,198
営業利益	12,512	17,109
金融収益	967	981
金融費用	△622	△702
持分法による投資利益	1,356	2,192
税引前四半期利益	14,214	19,581
法人所得税費用	△4,007	△4,994
四半期利益	10,206	14,587
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	8,850	12,664
非支配持分	1,356	1,923
四半期利益	10,206	14,587
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	31.12	45.67
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	31.08	45.61

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 9月30日)
四半期利益	10,206	14,587
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の純変動	1,226	1,197
確定給付型退職給付制度の再測定額	3,323	1,626
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	△13	4
純損益に振り替えられることのない項目 合計	4,536	2,828
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動	40	13
在外営業活動体の換算差額	5,583	3,195
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	5,624	3,208
税引後その他の包括利益合計	10,161	6,036
四半期包括利益	20,368	20,624
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	17,900	17,363
非支配持分	2,467	3,261
四半期包括利益	20,368	20,624

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	確定給付型退職給付制度の再測定額
2023年1月1日残高	34,433	31,069	△8,056	123	8,930	—
四半期利益 その他の包括利益					1,203	3,323
四半期包括利益合計	—	—	—	—	1,203	3,323
配当金 自己株式の取得 自己株式の処分 株式報酬取引 支配継続子会社に対する持分変動 その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		25	△0 189	△73		△3,323
所有者との取引額等合計	—	25	188	△73	△389	△3,323
2023年9月30日残高	34,433	31,095	△7,867	50	9,744	—

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計			
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計					
2023年1月1日残高	△42	4,953	13,966	192,842	264,255	14,912	279,168	
四半期利益 その他の包括利益	40	4,481	9,049	8,850	9,049	1,111	10,161	
四半期包括利益合計	40	4,481	9,049	8,850	17,900	2,467	20,368	
配当金 自己株式の取得 自己株式の処分 株式報酬取引 支配継続子会社に対する持分変動 その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			— — △73	△7,393 △63	△7,393 53	△553	△7,946 △0 53	
所有者との取引額等合計	—	—	△3,785	△3,743	△7,314	△395	△7,710	
2023年9月30日残高	△1	9,435	19,229	197,950	274,840	16,985	291,825	

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	確定給付型退職給付制度の再測定額
2024年1月1日残高	34,433	31,118	△7,868	50	10,227	—
四半期利益 その他の包括利益					1,215	1,626
四半期包括利益合計	—	—	—	—	1,215	1,626
配当金 自己株式の取得 自己株式の処分 自己株式の消却 株式報酬取引 支配継続子会社に対する持分変動 その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		56	△10,001 17 9,122			△1,626
所有者との取引額等合計	—	56	△861	—	△282	△1,626
2024年9月30日残高	34,433	31,175	△8,730	50	11,159	—

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計			
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計					
2024年1月1日残高	△21	8,122	18,377	204,255	280,316	17,817	298,134	
四半期利益 その他の包括利益	13	1,843	4,698	12,664	4,698	1,923 1,337	14,587 6,036	
四半期包括利益合計	13	1,843	4,698	12,664	17,363	3,261	20,624	
配当金 自己株式の取得 自己株式の処分 自己株式の消却 株式報酬取引 支配継続子会社に対する持分変動 その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			— — — — — — △1,909	△7,291 — △9,122 — — — 1,909	△7,291 △10,001 17 56 — — —	△1,234 — — — — 208 —	△8,525 △10,001 17 56 — 208 —	
所有者との取引額等合計	—	—	△1,909	△14,503	△17,218	△1,026	△18,245	
2024年9月30日残高	△7	9,965	21,167	202,415	280,461	20,052	300,513	

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	14,214	19,581
減価償却費及び償却費	15,169	15,638
減損損失	81	6,278
受取利息及び受取配当金	△688	△949
支払利息	588	588
持分法による投資損益(△は益)	△1,356	△2,192
固定資産処分損益(△は益)	463	△811
事業譲渡益	—	△3,425
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△4,587	10,187
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,243	△2,408
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△2,444	△24,264
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△725	90
その他	38	△612
小計	15,508	17,700
利息及び配当金の受取額	1,360	2,119
利息の支払額	△23	△42
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	△3,727	△4,076
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,117	15,701
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△2,955	△1,066
有形固定資産の取得による支出	△18,828	△14,754
有形固定資産の売却による収入	10	6,715
無形資産の取得による支出	△860	△566
使用権資産の取得による支出	△406	—
その他の金融資産の取得による支出	△496	△812
その他の金融資産の売却による収入	166	675
関係会社株式の取得による支出	△7,087	△102
事業譲渡による収入	—	3,663
その他	△205	△103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,663	△6,350

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,150	—
長期借入金の返済による支出	△143	△150
配当金の支払額	△7,397	△7,298
非支配持分への配当金の支払額	△553	△1,234
リース負債の返済による支出	△1,955	△2,000
自己株式の取得による支出	△0	△10,001
非支配株主からの払込による収入	158	208
その他	1	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,042	△20,478
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,346	561
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△27,241	△10,565
現金及び現金同等物の期首残高	101,078	85,526
現金及び現金同等物の四半期末残高	73,836	74,960

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。国内の関係会社は、製品・サービスの特性に応じて営業活動を行っております。

海外の関係会社は、独立した経営単位であり、地域の特性に応じて営業活動を行っております。

したがって、当社グループは、事業本部および会社を基礎とした製品・サービス別および地域別のセグメントから構成されており、「一般用消費財事業」、「産業用品事業」、「海外事業」の3つの報告セグメントに区分しております。

当社グループの報告セグメントは、以下のとおりであります。

① 一般用消費財事業

主に日本において、日用品、一般用医薬品の製造販売および売買を行っております。

(主要製品)ハミガキ、ハブラシ、ハンドソープ、解熱鎮痛薬、点眼剤、洗濯用洗剤、台所用洗剤、柔軟剤、住居用洗剤、漂白剤、ペット用品

② 産業用品事業

主に日本において、化学品原料、業務用品等の製造販売および売買を行っており、海外諸地域への製造販売および売買も含まれます。

(主要製品)油脂活性剤、導電性カーボン、業務用洗剤

③ 海外事業

海外の関係会社において、主に日用品の製造販売および売買を行っております。

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本において当社の子会社が、主に当社グループ内の建設請負、不動産管理、人材派遣等を行っております。

(2) 報告セグメントの売上高および業績

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	連結 (注)3
	一般用 消費財事業	産業用品 事業	海外事業				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	167,441	28,193	99,182	1,280	296,097	—	296,097
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	29,077	14,520	10,454	14,254	68,307	△68,307	—
計	196,519	42,713	109,637	15,535	364,404	△68,307	296,097
事業利益	3,082	2,513	5,975	934	12,505	98	12,604
その他の収益							1,064
その他の費用							△1,156
営業利益							12,512
金融収益							967
金融費用							△622
持分法による投資利益							1,356
税引前四半期利益							14,214

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 事業利益の調整額 98百万円は、主に内部取引消去額および報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

3 売上総利益から事業利益への調整は以下のとおりです。

売上総利益	131,348百万円
販売費及び一般管理費	△118,744百万円
事業利益	12,604百万円

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除した利益であり、当社の取締役会では事業利益に基づいて事業セグメントの実績を評価しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	連結 (注)3
	一般用 消費財事業	産業用品 事業	海外事業				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	160,271	27,866	112,026	994	301,159	—	301,159
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	28,514	12,408	11,289	11,453	63,666	△63,666	—
計	188,785	40,275	123,315	12,447	364,825	△63,666	301,159
事業利益	8,360	2,228	7,257	408	18,254	368	18,623
その他の収益							5,684
その他の費用							△7,198
営業利益							17,109
金融収益							981
金融費用							△702
持分法による投資利益							2,192
税引前四半期利益							19,581

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 事業利益の調整額 368百万円は、主に内部取引消去額および報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

3 売上総利益から事業利益への調整は以下のとおりです。

売上総利益	137,626百万円
販売費及び一般管理費	△119,002百万円
事業利益	18,623百万円

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除した利益であり、当社の取締役会では事業利益に基づいて事業セグメントの実績を評価しております。